

令和 年 月 日

府中市長 高野 律雄 様

府中市環境審議会
会 長 榎本 弘行第 2 次府中市環境基本計画及び府中市地球温暖化対策地域
推進計画中間見直し後の進捗状況について（答申案）

令和 3 年 8 月 4 日付、3 府生環第 3 1 6 号で諮問のあったことについて、当府中市環境審議会の意見は、次のとおりです。

1 第 2 次府中市環境基本計画（環境行動指針）の進捗状況について

平成 2 6 年度を初年度とする第 2 次府中市環境基本計画につきましましては、平成 2 6 年度から令和元年度の進捗状況を本審議会に報告いただき、概ね順調に進捗しているとの判断をしてまいりました。

今般、令和 2 年度の進捗状況におきましても、審議の結果、概ね順調に進捗していると評価します。

一方で、新型コロナウイルス感染症の流行により、家庭ごみの増加やイベントの中止など、様々な施策に大きな影響を与えています。コロナ禍における新しい生活様式に対応して対策を進めるとともに、イベント等においては代替の手法も導入する等、可能な限り施策の継続を図られるよう要望いたします。

また、**用水路の通年通水の検証**や、市の施設への再生可能エネルギーシステム、自立分散型エネルギーシステムの導入等については、継続して取組を推進していく必要があると考えます。

加えて、環境に関わる市民活動の促進や環境学習の推進等を担う府中市環境保全活動センターは、当初予定した環境保全センターの在り方と現状との間に乖離が生じていることから、当該センターの役割等を含めた見直しを要望します。

最後に、令和 5 年度を初年度とする次期環境基本計画を策定する際

には、適切な指標を設定し、その指標の推移から、計画全体の進捗状況が把握できる計画に見直すことを要望します。

2 府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について

府中市地球温暖化対策地域推進計画につきましては、平成29年1月に中間見直しを行っております。

中間見直しにおいては、6つの重点プロジェクトに基づき、その各プロジェクトの中から「モニタリングメニュー」としての指標を選定し、毎年の市民アンケートなどで進行管理を行うこととしております。

全体的に評価すると、令和2年度においては、目標設定に対して、達成率が低調な項目が多く見受けられます。

脱炭素型社会の実現に向けた、太陽光発電システムのさらなる普及や、田畑などの農的空間を多様な視点で評価した、**災害に強く、しなやかに対応できるまちづくり**に取り組んでいくことが必要だと考えます。

さらに、市の公共施設等においては、省エネルギー化と再生可能エネルギーの導入を進め、率先して二酸化炭素排出削減を図っていくことを要望します。

また、市・市民・事業者の協働による取組を、府中市環境保全活動センターを中心に、さらに推進していくことを要望します。

もっとも、現行計画のモニタリングメニューは、目標の達成が極めて困難なものが多く、モニタリングメニューを通して、計画全体の進捗を把握することができません。このことから、次期地球温暖化対策地域推進計画においても、適切な指標を設定し、その指標の推移から、計画全体の進捗状況が把握できる計画に見直すことを要望します。